



第21回大学博物館等協議会・第13回日本博物科学会に参加

香川大学博物館を視察しました

平成30年6月21日(木)に第21回大学博物館等協議会が、翌日の22日(金)に第13回日本博物科学会が香川大学幸町キャンパスで開催され、鉱業博物館からは今井忠男鉱業博物館長、西川治国際資源学研究所講師、佐藤光沙職員が参加しました。今回の大会には大学博物館や国立博物館関係者約100名が参加しました。協議会の今回のテーマは「大学博物館と地域との連携」で、NPO法人と大学、生涯学習施設が協力して行っている地域との連携など、3件の発表がありました。日本博物科学会では、教育、展示、研究のセッションで、17件の口頭発表が行われた他、7件のポスター発表がありました。

次回は秋田大学が当番校になっており、会議では今井鉱業博物館長から、開催日程のお知らせと参加の呼びかけがありました。今回の会議では、事務局や当番校のスタッフと交流し、来年度の大会を運営するために参考になる多くの情報が得られました。



シンポジウムの様子

香川大学博物館を視察



①



②



③

①香川大学博物館展示室を視察
②動物標本を保管する部屋

③標本を保管する移動式標本庫

幸町キャンパス内には香川大学博物館があります。大会二日目には、香川大学博物館長寺林氏に案内していただき、展示室と保管庫を視察しました。平成20年に開館した新しい博物館ですが、各学部から集められた動物、植物、地学、考古学、工学、医学など幅広い分野の標本を見ることができます。寺林館長からは、小規模で展示資料も十分ではなく、スタッフも不足しているなか、知恵を絞って博物館の活動をしていることを伺いました。また、過去に行った特別展のポスター展示や、移動式標本庫での標本管理について説明を受けました。

鉱業博物館との交流では、平成28年に香川大学博物館で開催された「ハチの世界」展に合わせて、鉱業博物館で採取された80cmにも達する大きなキロスズメバチの巣を寄贈しています。また、平成29年に寺林館長が来館された際には、過去に高松市にあり、現在は鉱業博物館に展示している「高松伏石鉱物館」の鉱物標本コレクションを展示する計画について話し合いました。

初代秋田大学学長 佐野秀之助氏の妻 幸氏製作 モザイク画 が寄贈されました

只今展示準備中!

平成30年5月28日(月)新制大学発足(昭和24年)後の初代秋田大学学長 佐野秀之助氏(昭和25年~昭和30年 就任)のご親族から、佐野氏の妻 幸氏が製作した絵画が寄贈されました。絵画は縦約60cm、横約100cmのタイルモザイク画で、鉱山で作業する鉱夫の姿が描かれています。

また、生前、秀之助氏が海外勤務先から自宅へ送った絵葉書や写真、研究に関連する記事が掲載された新聞の切り抜きなど、貴重な資料も寄贈されました。モザイク画と資料は、只今展示に向けて準備作業を進めております。日程が決まりましたらミニミニマイズでお知らせします。

臨時休館のお知らせ

9月1日(土)

終日休館させていただきます。

鉱業博物館無料開放予定

7月28日(土)

7月29日(日)

9:00~16:00

秋田大学オープンキャンパスにあわせて無料開放いたします。ぜひ、ご来館ください!

鉱業博物館サイエンスボランティア活動紹介

その2 館内のガイド

その1 館外の環境整備

平成30年5月21日(月)、鉱業博物館サイエンスボランティア(以下SV)の皆さん9名が、博物館外の清掃作業を行いました。作業は、坂の両側に立つ桜から散った花びらや、落ちた枝の掃除、除草などで、約2時間掛けて作業を終えました。ご協力ありがとうございました。



とてもきれいになりました
ご協力ありがとうございました



お一人で!
ご家族で!
団体で!

ガイド付きの見学予約について

当館の館内案内を希望される方は、1週間前までに下記連絡先までご連絡ください。

● 鉱業博物館 事務室
TEL: 018-889-2461
(土日祝除く9時~16時)
E-mail: w3admin@mus.akita-u.ac.jp

館内標本紹介

かんもしき
アンモナイト化石 完模式標本
シュードコッサマティセラス ヤギ
Pseudokossmaticeras yagii

当館では、アンモナイト化石標本を多数展示しています。これらは、本学の前進である秋田鉱山専門学校探鉱科を卒業し、北海道炭礦汽船株式会社で活躍された八木孝橋氏(故人)が北海道各地の白亜紀の地層から収集されたものです。

特に、1973年に八木氏が北海道夕張市登川地区で発見したアンモナイト化石(Pseudokossmaticeras yagii Matsumoto)は、1990年、松本達郎九州大学名誉教授(故人)によって、完模式標本(その種の定義として国際的に参照される最も重要な、世界唯一の標本)に指定され、新種記載されました。

八木コレクションのコーナーでは、「異常巻き」とよばれる巻きが解けた種の標本など貴重な標本を見ることが出来ます。2階展示室で常設展示しておりますので、ぜひご覧ください。



完模式標本 Pseudokossmaticeras yagii
殻体の最大径は9.3 cm



2階 地球生命史コーナー内に
八木コレクションの標本を展示しています

開催の
おしらせ

鉱業博物館開放講座

入館・聴講ともに無料
事前申し込み不要

講師: 金児 紘征 氏 (秋田大学名誉教授)
会場: 鉱業博物館 3階 講堂

平成30年度 第1回 鉱業博物館開放講座
ファラデーに魅せられて (4)
「ロウソクの科学」を読む (その1)
日時 平成30年8月2日(木)
15:00~16:00

平成30年度 第2回 鉱業博物館開放講座
ファラデーに魅せられて (5)
「ロウソクの科学」を読む (その2)
日時 平成30年8月9日(木)
15:00~16:00

※どちらか一方のご参加でも結構です。皆様のお越しをお待ちしております。

8月は毎日開館して
おります

ご来館をお待ちして
おります!

